



# 浮羽中学校通信

共に学び、未来を切り拓く、心豊かな生徒の育成

【重点目標】自分の可能性を信じ、他者と協働しながら、粘り強く学びに取り組む生徒の育成～

うきは市立浮羽中学校  
第 2 号  
令和 8 年 5 月 8 日 発行  
文責 校長 竹並俊和

## 響き渡る返事とともに、94名の新しい物語が始まりました

野山の草木が鮮やかな緑へとその装いを変え、新しい命の息吹が感じられる季節となりました。この良き日に、ご来賓の皆様、並びに保護者の皆様に見守られ、本校「第五十三回入学式」を挙行できましたことを、心より感謝申し上げます。

今年度は2・3年生の在校生全員と教職員が一堂に会して、全校体制で新入生を迎え入れることができました。体育館に響き渡った94名の新入生の元気な返事と、そして引き締まった表情。そこからは、中学生としての自覚と、これから始まる生活への期待が真っ直ぐに伝わり、非常に頼もしく感じた次第です。

私は式辞の中で、本校の教育の柱である三つの校訓について話をしました。

「敬愛」… 互いの違いを認め、手を差し伸べ合う温かな心。  
「英知」… 疑問を大切に、仲間と共に深く考える力。  
「克己」… 困難に直面したとき、自分の弱い心に打ち勝つ強さ。

この3年間は、決して平坦な道ばかりではないかもしれませんが、仲間と共に校歌を歌い、励まし合いながら一歩ずつ努力を積み重ねる経験は、生徒たちにとって一生の財産となるはずですよ。

保護者の皆様、大切なお子様を本日より責任を持ってお預かりいたします。3年後の卒業式に、生徒たちが「この学校で過ごして本当によかった」と胸を張って言えるよう、教職員一同、一丸となって教育活動に邁進してまいります。式典の最中、新入生を見つめる在校生の眼差しにも、先輩としての優しさや責任感が溢れていました。全校生徒が揃ってスタートを切れた喜びを噛み締め、活気ある浮羽中学校を共に創っていきたく思います。



【 第 53 回入学式 】



【 1 組中山先生 2 組瀬戸口先生 3 組執行先生 】



【 呼名時に 返事をして起立する新入生 】

## 浮羽中学校通信へのご協力のお願い（再掲）

本校の学校通信は、生徒たちの生き生きとした活動の様子をお伝えするため、毎月 1 回程度の発行を予定しており、生徒や保護者の皆様が活動されている写真等も掲載してまいります。また、これらの通信は学校ホームページでも広く公開いたします。

つきましては、各学年・学級通信やPTA 広報誌等も含め、写真の掲載や個人名の公表を希望されない場合は、お手数ですが担任までお申し出ください。

学校といたしましても、肖像権や個人情報の保護には細心の注意を払い、皆様に安心して愛読いただける紙面づくりに努めてまいります。なお、特にお申し出がない場合はご了承いただいたものとして進めさせていただきますが、年度途中での変更も可能です。円滑な広報活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 地域に根ざし、伝統を繋ぐー加茂神社「春の大祭」に参加してー

うららかな春光が降り注ぐ4月11日(土)、山北地区の加茂神社にて「春の大祭」が執り行われました。加茂神社、そしてこの大祭は630年を超える悠久の歴史を有しており、地域の皆様が大切に守り続けてこられた宝物です。当日は多くの方々が参列され、厳かな神事が行われましたが、その中で本校の生徒たちが素晴らしい役割を果たしてくれました。

新入生3名による舞の奉納がありました。今年の神事では、山春校区の新入生3名(河津愛萌さん、竹下志来さん、渡邊莉央さん)が舞い手として参加しました。入学したばかりの緊張感の中、この日のために練習を重ねてきた3名。地域の方々が見守る中、歴史ある境内で堂々と舞を披露する姿は新中学生としての瑞々しさと、伝統を継承する頼もしさに溢れていました。

また、境内には2年生(旧1年)の書道作品展が彩りを飾り、書道展も開催されました。ここには現在2年生となっている生徒たちが、1年生の時に心を込めて書き上げた作品が展示されました。歴史ある神社の景観の中に、生徒一人ひとりの個性が光る力強い筆致が並び、参拝に訪れた方々の目を楽しませていました。自分たちの表現が地域の行事の一部となることは、生徒たちにとっても大きな自信となったはずです。地域行事への参加は、生徒たちが自らのルーツを知り、郷土愛を育む貴重な機会です。630年という長い歴史の一端を本校の生徒が担わせていただいたことに、加茂神社の皆様、そして地域の皆様へ深く感謝申し上げます。これからも学校と地域が手を取り合い、子どもたちの成長を見守っていければ幸いです。



【 3名の舞の奉納の様子 】



【 境内に展示してある2年生の書道作品 】

## 「つながり」の中で、子どもたちは育つ

4月25日(土)、本年度のPTA総会を開催いたしました。休日にも関わらず多くの保護者の皆様にご来校いただきましたこと、心より感謝申し上げます。総会に先立ち、1・2年生は授業参観、3年生は、第1回進路説明会を行いました。真剣に学ぶ生徒たちの姿、そして我が子の将来を共に見据える保護者の皆様の熱意が校内に溢れ、非常に活気ある一日となりました。

総会の冒頭では、2・3年生による合唱「ほらね」が披露されました。体育館に響き渡る歌声は、聴く者の心をついにし、新しい年度の幕開けにふさわしい感動的なひとときとなりました。また、総会の中では昨年度まで多大なるご尽力をいただきました前会長の佐藤弘法様、前副会長の新川陽子様、そして3年間の長きにわたり理事を務められた上村清香様へ、これまでの功績を讃え感謝状を贈呈いたしました。皆様の献身的な活動が、本校の教育活動を支える大きな力となったことは言うまでもありません。

総会の中で私が印象に残ったことがあります。それは、退任された佐藤前会長の総会の冒頭でのご挨拶です。「PTA活動を通して、子どもたちがのびのびと育つ環境を作っていきましょう。そのためには、皆さんの意見が大切です。意見を出し合っていきましょう。」という内容でした。この言葉には、PTAの本質が詰まっています。学校と家庭は、子どもという未来を育てる「車の両輪」です。大人が互いに手を取り合い、活発に意見を交わし合う姿こそが、子どもたちにとっての最良の教育環境となります。

私たち教職員も、皆様からの貴重なご意見を真摯に受け止め、より良い学校づくりに邁進してまいります。本年度も、本校の教育活動およびPTA活動へのご理解とご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。



【 2・3年生による合唱「ほらね」の様子 】



【 第1回進路説明会 親子で説明を聞く様子 】



【 PTA総会の様子 多くの方々が参加 】



【 新旧のPTA役員の皆様 】